

虎の門病院 平成 30 年度後期研修医（レジデント）募集要項

当院では平成 27 年度までに医師免許を取得しかつ初期臨床研修を修了した医師を対象に、後期研修医（レジデント）を募集しています。

【募集内容】

研修期間：平成 30 年 4 月 1 日から 3 年間

3 年間で後期研修の修了を認定します。

専門医取得要件を満たすために 4 年目以降も引き続き後期研修の継続を希望する場合は、研修科の部長および医学教育部の承認を得た上でフェロー（医学教育部所属）として研修継続が認められることがあります。

【募集研修コース：（内科系、外科系）】

I 内科系（数名）

1. 内科ローテーションコース

（含まれる科：血液科、内分泌代謝科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、分院内科総合診療科）

2. 肝臓内科・重点コース

3. 消化器内科・重点コース

4. 呼吸器センター内科・重点コース

5. 脳卒中専門医養成コース

6. 臨床感染症科・重点コース

7. 臨床腫瘍科・重点コース

8. 分院腎センター・重点コース

II 外科系（数名）

9. 腎センター外科・重点コース

10. 外科ローテーションコース

（ローテーション可能な科：上部消化管・肝胆膵外科、呼吸器外科、下部消化管外科、循環器外科、乳腺・内分泌外科、腎センター外科、分院外科）

内科系の 2～8 の重点コースについては、事前に募集の有無に関して医学教育部までお問い合わせください。

- 1) 募集方法：公募
- 2) 選考方法：書類選考、面接（口頭試問を含む）
- 3) **選考日程：書類選考後、面接日を後日決定します。**

面接予定 11 月 12 日（日）午前中の予定

新専門医制度に該当する医師と同日開催予定

応募締切：平成 29 年 10 月 31 日（火）までに当院所定の応募書類に加えて研修修了

証明書および分野の異なる5症例の病歴要約(書式任意)を郵送のこと

【募集研修コース:(専修医)】

専修医

1. 専修科コース(全体で数名)

(いずれか1科を選択:精神科、麻酔科、放射線診断科、放射線科、産婦人科、泌尿器科、形成外科、リハビリテーション科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻科、病理診断科、脳神経外科、整形外科)

- 1) 募集方法: 公募(内部進級者を含む)
- 2) 選考方法: 各診療科で個別に行います。
- 3) 応募締切: 定員になり次第締め切らせていただきます
医学教育部までご連絡下さい。その後、各診療科よりご連絡します。
また、可否についても、各診療科より通知します。

【処遇(共通)】

身分: 期限(3年間)の定められた常勤医師(後期レジデント)

社会保険等: 厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保険、

給与

1年目	:	給与	513,220円/月	賞与	2,239,792円
2年目	:		519,620円/月		2,306,417円
3年目	:		534,890円/月		2,361,595円

給与は(基本給)+(超勤30時間)+(平均当直・日直)を含む

賞与は(年2回)+(医務手当)を含む

上記金額はあくまでも概算とする

当直

1年目	3~2回程度
2年目	2~1回程度
3年目	2~1回程度

当直手当

20,000円/回

新規採用の後期レジデントは初年度の夏の賞与については、4月~7月の採用のため表示金額と異なります。

宿舍: なし

住宅手当・通勤手当あり

健康管理: 年2回職員健診あり

照会先: 虎の門病院人事係もしくは医学教育部事務局

TEL: 03-3588-1111

e-mail: igakukyoikubu@toranomon.gr.jp

【後期研修各コースの概要】

内科系

1. 内科ローテーションコース

当院では 50 年間にわたり卒後臨床研修を実施しており、既に 1000 名以上の卒業生を輩出しています。特に、内科後期研修においては、志望する診療科を中心に研修するのみならず、内科臨床を幅広く学ぶことを目的としたプログラムとなっています。研修の過程で、内科認定医のみならず内科専門医の取得に十分な臨床経験を積むことができます。

当院には「内科」という診療科はありませんので、各専門診療科をローテーションして研修することになります。具体的には、3ヶ月を1単位とするローテーション方式で、後期1年目に4科を、後期2年目に2-3科を研修して頂きます。後期3年目は原則的に将来専門とする診療科での研修となりますが、その間にも他科のローテーションが可能です。

その後、各学会の専門医取得資格を得ることなどを目的に、後期研修を延長することができます。ただし、この場合には研修科の部長および医学教育部の承認を必要とします。

ローテーションはレジデント毎に作成されます。作成にあたっては可能な限りレジデントの希望を尊重します。一方、診療科毎のレジデントの配置が著しく不均衡にならないよう、医学教育部で調整を行います。

(内科専門医および内分泌代謝科・糖尿病専門医を志望するレジデント向けローテーション例)

	4・6月	7・9月	10・12月	1・3月
後期1年目	内分泌代謝科	神経内科	腎臓内科	循環器内科
後期2年目	内分泌代謝科	内分泌代謝科	内分泌代謝科	呼吸器内科
後期3年目	内分泌代謝科	内分泌代謝科	内分泌代謝科	(希望科選択可)

内科各診療科の後期研修概要は PDF 版の各科カリキュラムを参照して下さい。

2～8. 肝臓内科、消化器内科、呼吸器センター内科、臨床感染症科、臨床腫瘍科、腎センター外科の各重点コースおよび脳卒中専門医養成コース

研修スケジュールやローテーション例などは各科後期研修概要(PDF版カリキュラム)を参照して下さい。

9. 外科ローテーションコース

当院では 40 年間にわたり卒後臨床研修を実施しており、既に 1000 名以上の卒業生を輩出しています。外科後期研修においても内科と同様に、志望する診療科を中心に研修するのみならず、外科臨床を幅広く学ぶことを目的としたプログラムとなっています。

当院には「外科」という診療科はありませんので、各専門診療科をローテーションして研修することになります。具体的には、3ヶ月を1単位とするローテーション方式で、外科全般について学びます。後期3年目は原則的に将来専門とする診療科での研修となりますが、その間にも他科のローテーションが可能です。

外科専門医の取得に際しては、小児外科や末梢血管外科の経験が必要となりますが、これらの領域についても院内や関連施設で研修を受けることが可能です。その後、各学会の専門医取得資格を得ることなどを目的に、後期研修を延長することができます。ただし、この場合には研修科の部長と医学教育部の承認を必要とします。

ローテーションはレジデント毎に作成されます。作成にあたっては可能な限りレジデントの希望を尊重します。一方、診療科毎のレジデントの配置が著しく不均衡にならないよう、医学教育部で調整を行います。

(ローテーション例)

	4・6月	7・9月	10・12月	1・3月
後期1年目	上部消化管・肝胆膵外科	下部消化管外科	乳腺内分泌外科	救急部
後期2年目	上部消化管・肝胆膵外科	呼吸器外科	呼吸器外科	腎センター外科
後期3年目	下部消化管外科	呼吸器外科	呼吸器外科	呼吸器外科

外科各診療科の後期研修概要は PDF 版の各科カリキュラムを参照して下さい。

各診療科の後期研修概要は PDF 版の各科カリキュラムを参照して下さい。

【後期研修修了後の進路】

1. 当院常勤医員（専攻医）
2. 大学病院（大学院進学を含む）
3. 関連施設
4. その他

（参考）

平成 24 年度修了者の進路

当院腎センター内科専攻医、当院消化器外科専攻医、当院フェローシップ、京都大学付属病院、東京大学研究科、心臓血管研究所、癌有明病院、東京女子医科大学病院など

平成 25 年度修了者の進路

当院呼吸器センター内科専攻医、当院消化器外科専攻医、当院フェローシップ、慶應義塾大学薬理学教室、京都府立医科大学、東京大学病院、九州大学病院など

平成 26 年度修了者の進路

当院呼吸器センター内科専攻医、当院腎センター内科専攻医、当院血液内科専攻医
当院呼吸器センター外科専攻医、当院フェローシップ、宝塚市立病院、東京大学病院など

平成 27 年度修了者の進路

当院消化器内科専攻医、当院フェローシップ、国立ガンセンター東病院、太田ネフロクリニック

進路については診療科により様々で、一律に記載することはできません。将来の専門診療科が決まっている場合には、事前に各科部長に直接相談することができます。